

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

建設・不動産業を通じて、ステークホルダーと「協働共生」の関係を構築し、相互に利益を享受し成長すること

注文建築事業の比率
50%

自己資本比率
30%以上

2 中長期の経営戦略

1. 事業ポートフォリオの最適化

注文建築事業、分譲マンション事業、戸建分譲事業の売上・利益比率をバランスよく構成し、グループ全体の業績安定化を図る

2. 注文建築事業の強化拡大

労働環境改善と技術系若年層育成で建設技術者を増やし、建設会社M&Aを通じて事業規模を拡大

3. M&A・事業提携の推進

既存事業との親和性・相乗効果が高く成長性が見込まれる事業に積極的にM&A投資と事業提携を実施

3 対処すべき課題

① プロジェクト用地仕入の強化

- ・ 用地取得ルート拡大と土地所有者との相対商談強化
- ・ 他社との協働開発を推進
- ・ 早期売却可能なプロジェクト用地の仕入・開発・販売を積極化

② 原価低減と建設従事者確保

- ・ 設計段階での仕様見直しと設計・施工の内製化を推進
- ・ 外国籍社員による工事内製化で労務費削減
- ・ 若年層・技術系社員の労働環境整備で建設技術者確保

③ 財務基盤の強化

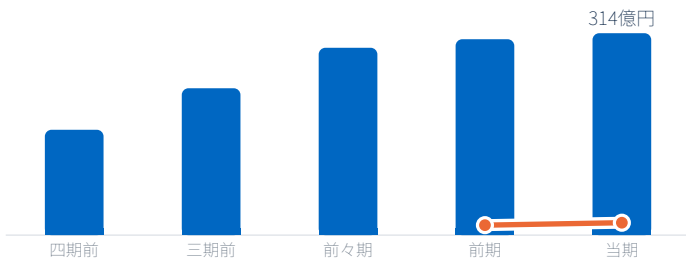
- ・ 自己資本比率30%以上を維持
- ・ 販売用不動産の早期売却で総資産回転率を改善

面接で使えるポイント

- ・ 注文建築事業の比率を50%まで高めることで、分譲マンション事業の変動性を補い業績安定化を目指すビジネスモデル
- ・ 建設従事者減少と労務費上昇に対し、外国籍社員の工事内製化や若年層育成で対応する人材戦略
- ・ 自己資本比率30%以上維持と総資産回転率改善による、先行き不透明な環境下での経営安定性確保

証券コード 8891

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
31.4億円営業利益率
6.2%財務健康度
37点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 43.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
470万円
不動産業内 121位/130社平均年齢
45.0歳
不動産業内 17位/131社平均勤続
0.0年
不動産業内 131位/131社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

